

シヨ
ヲ
女体化させて
人生
ブ
千壊す
クリーチャー

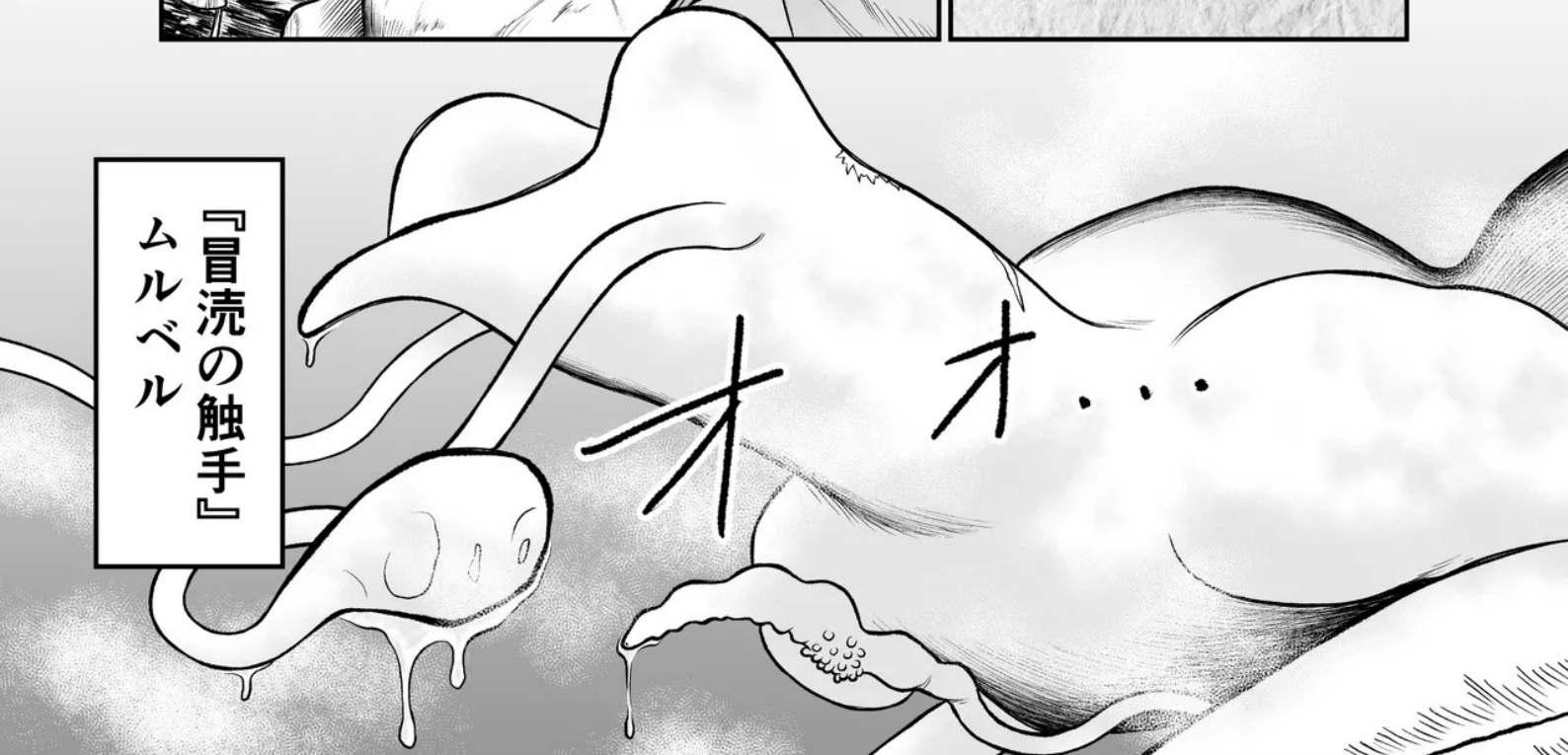
ダークチンポ少佐

R18

成人向け



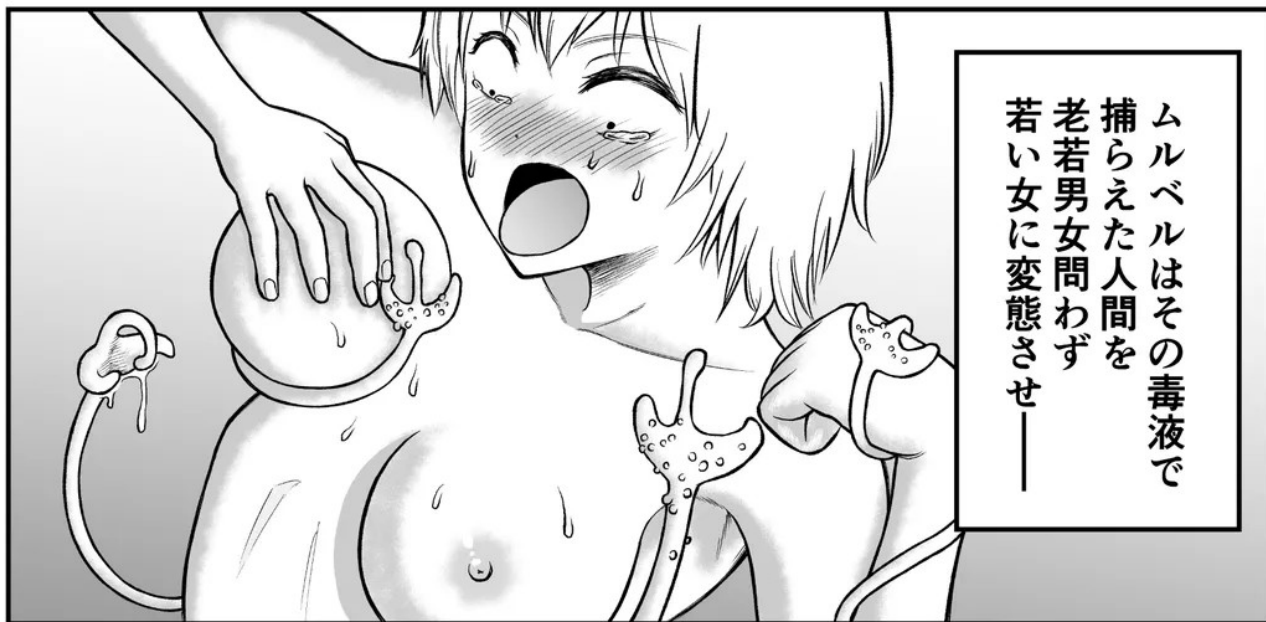
王立調査団による
生態調査報告――



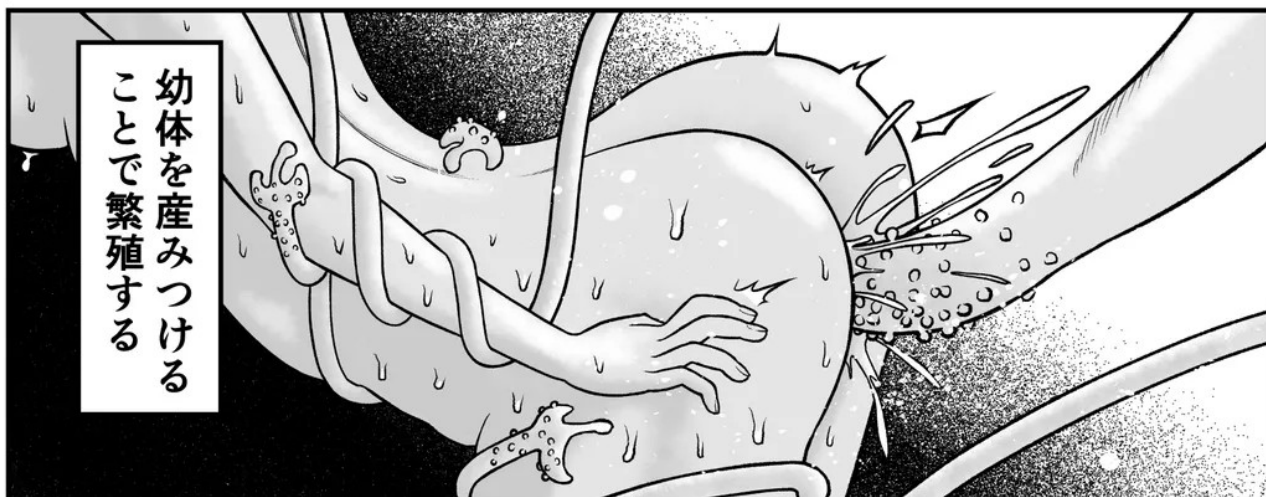
『冒涇の触手』
ムルベル



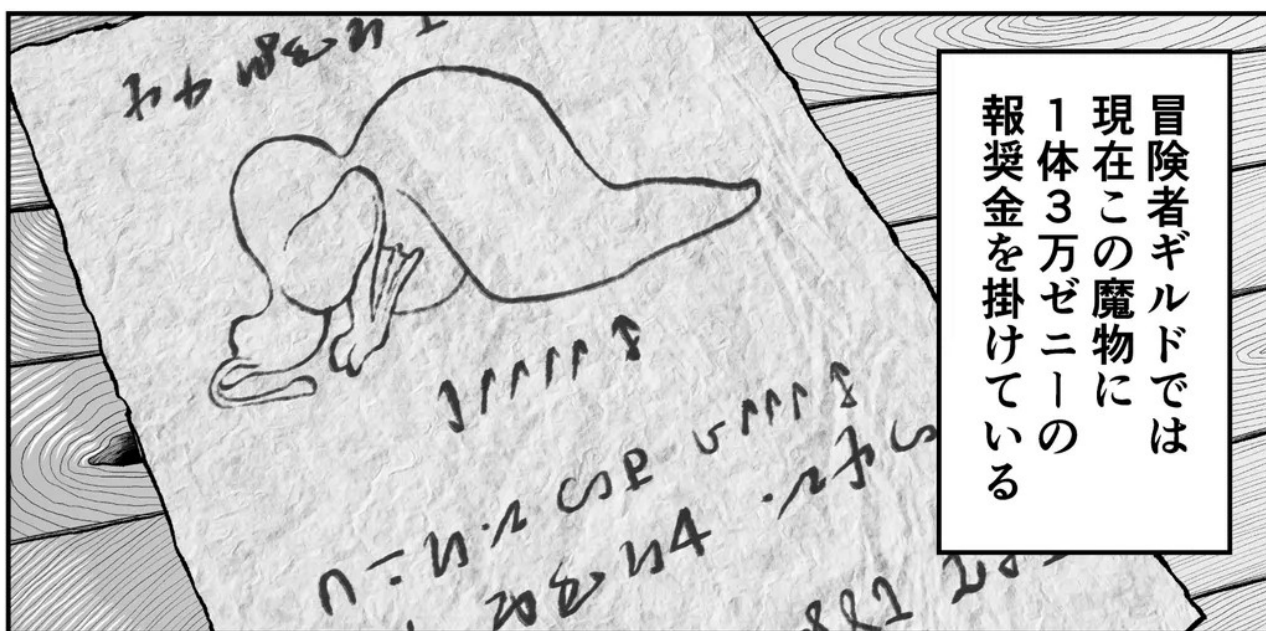
その生態の最大の特徴は
『人間を孕み袋にする』
という点にある



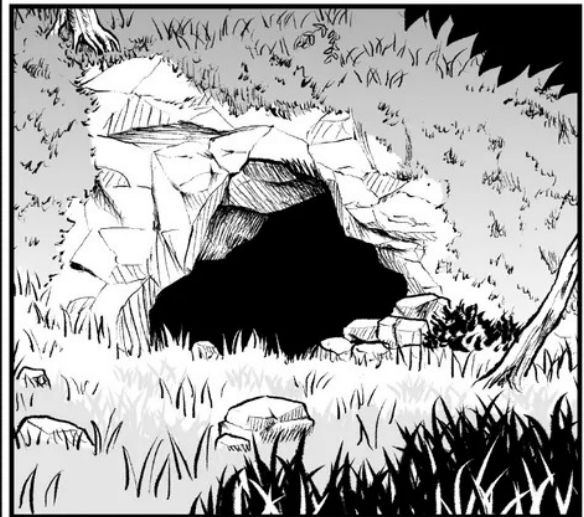
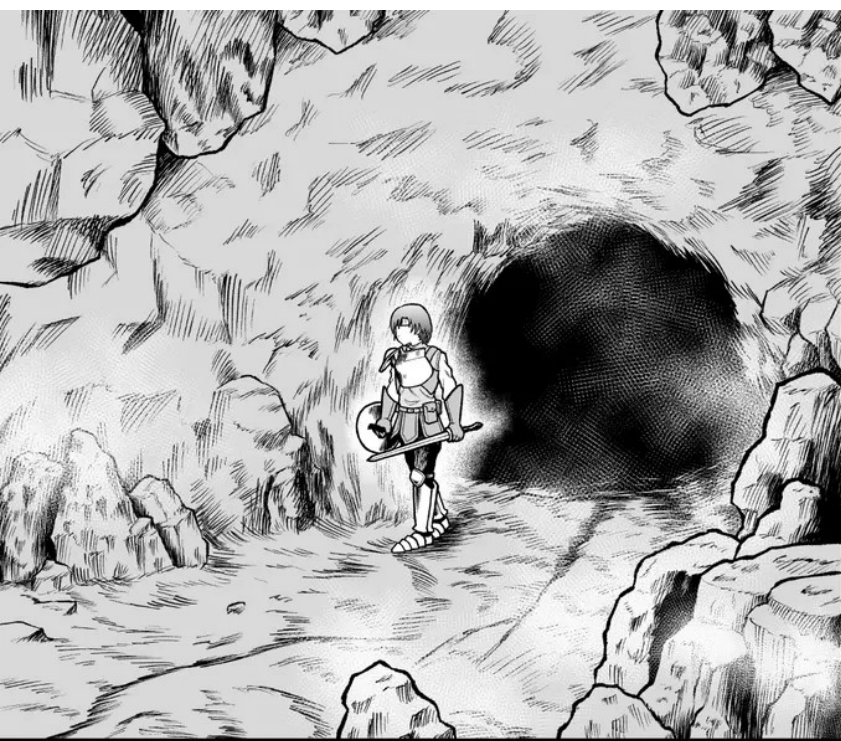
ムルベルはその毒液で
捕らえた人間を
老若男女問わず
若い女に変態させ――



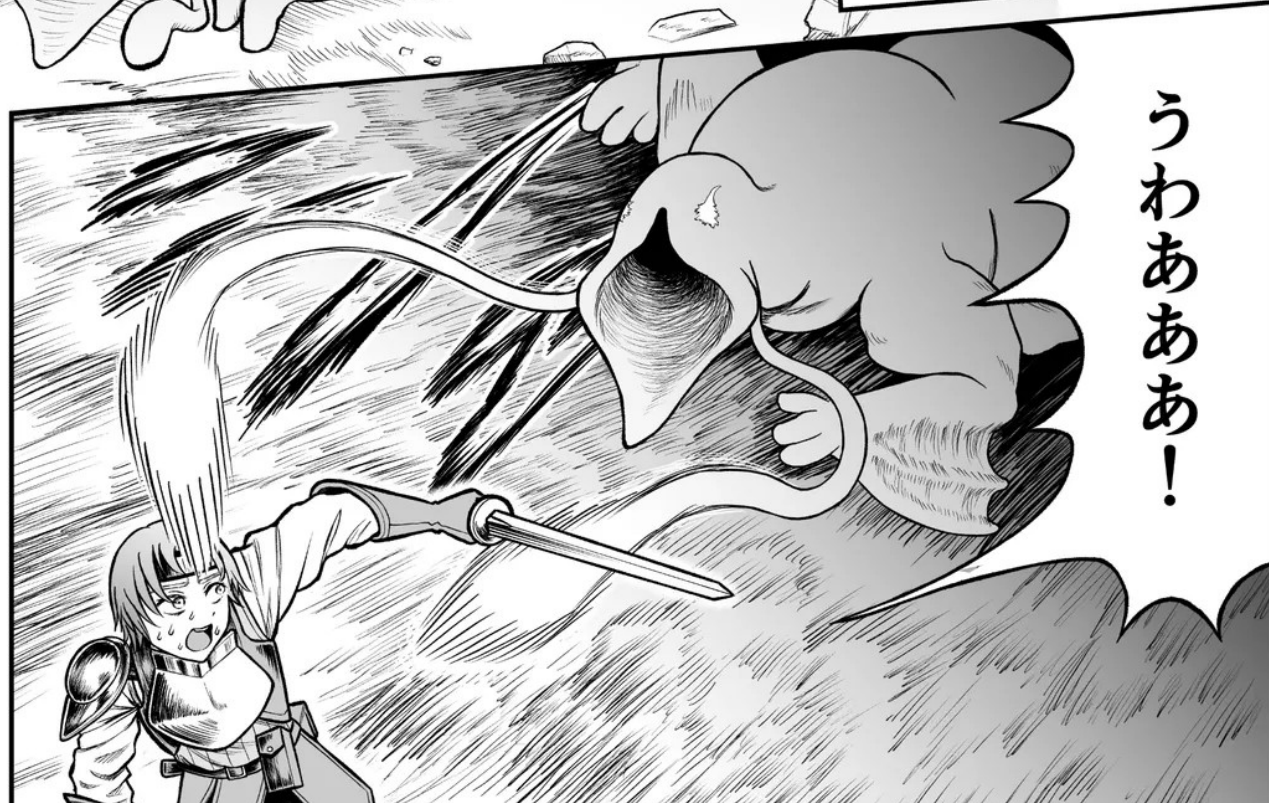
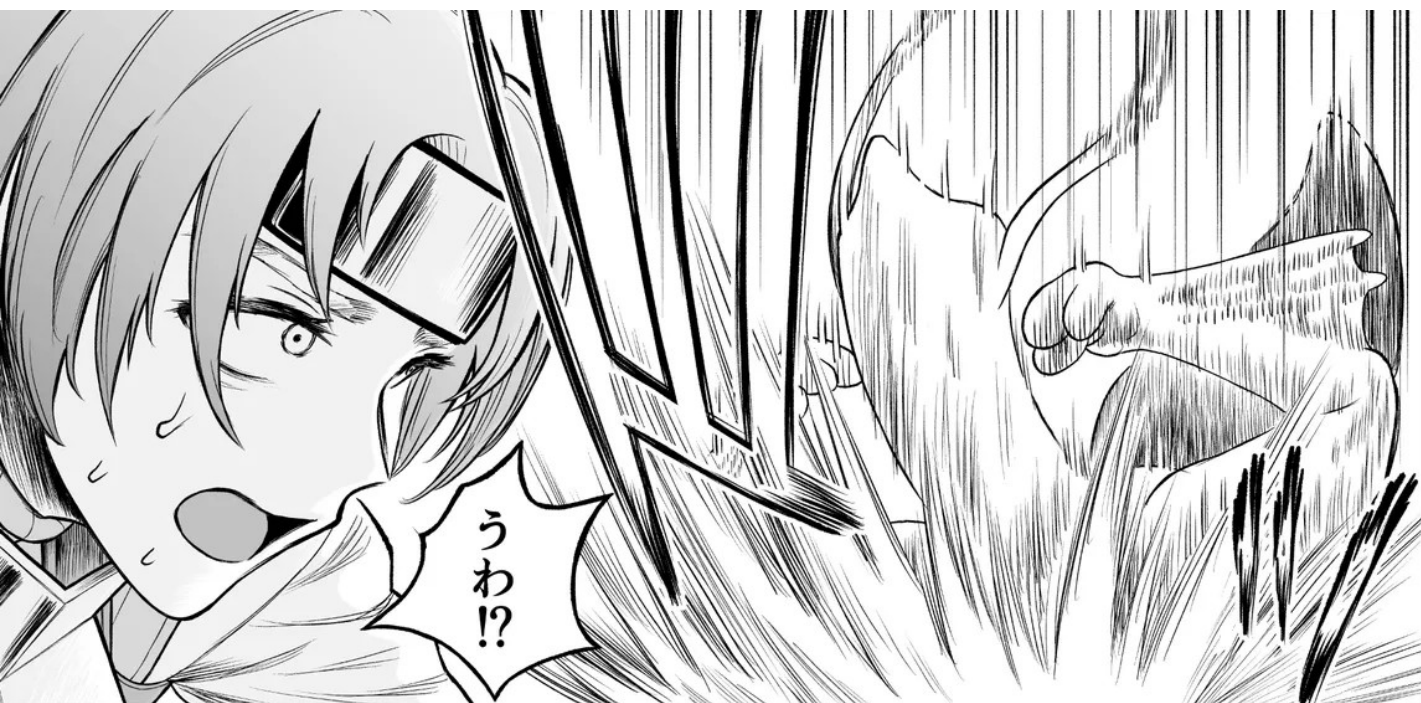
幼体を産みつける
ことで繁殖する



冒険者ギルドでは
現在この魔物に
1体3万ゼニーの
報奨金を掛けている







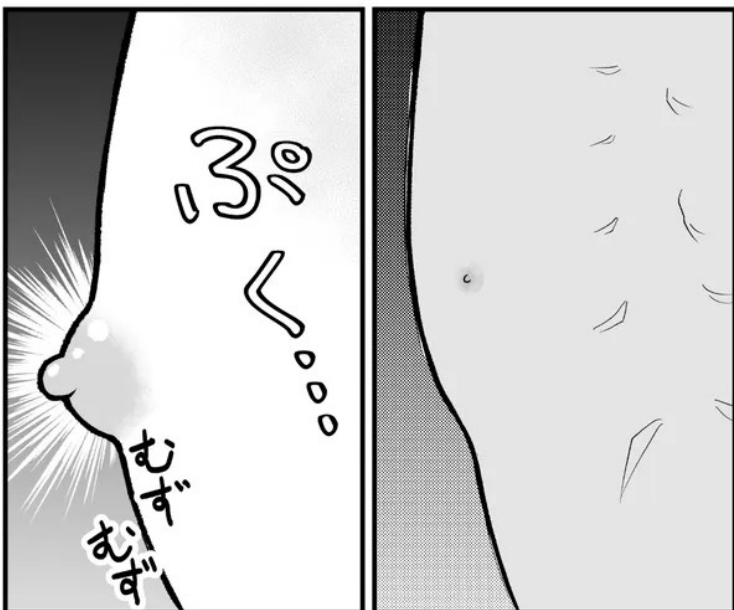




中^だ出されたー!



体が吸収する前に
出しちまえば――！



ヤバイ！

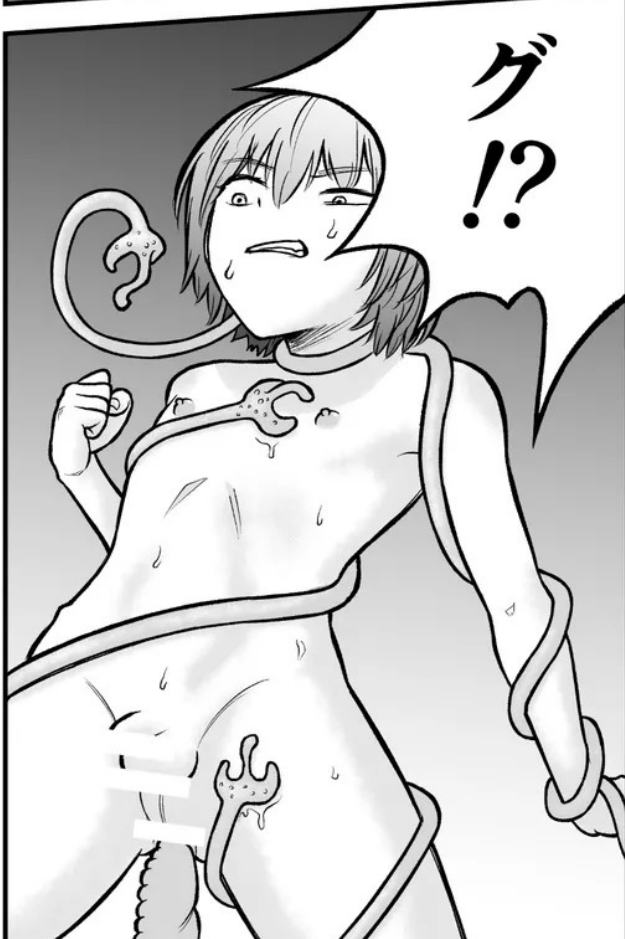
もう変化が！？



クソ！
やめろおお！



グ！？



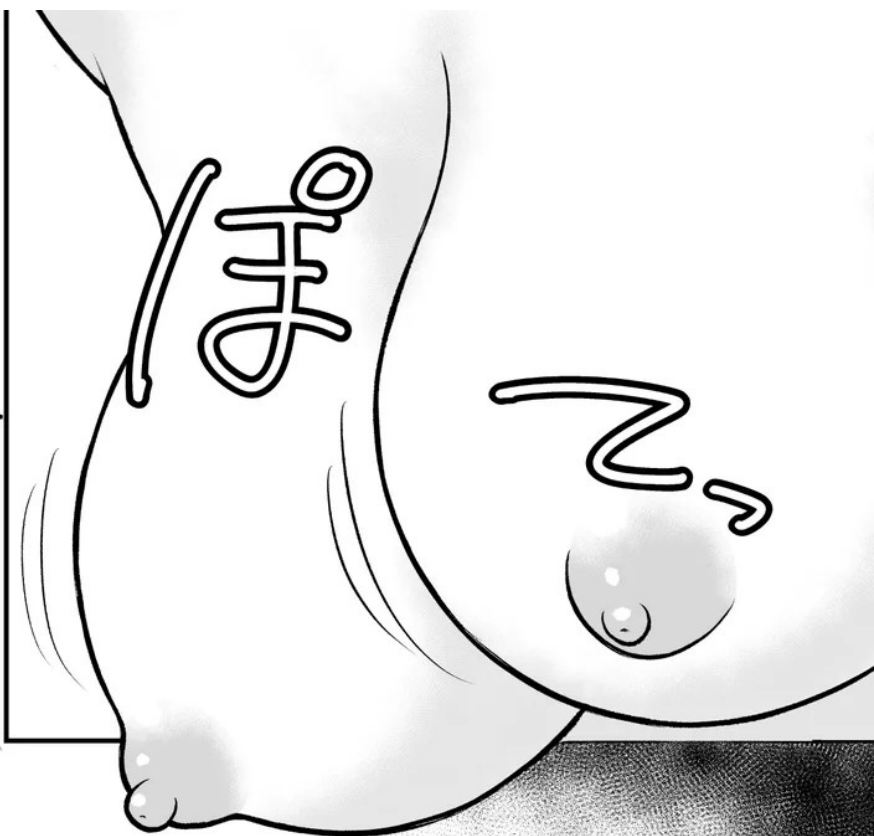


——催淫効果!?

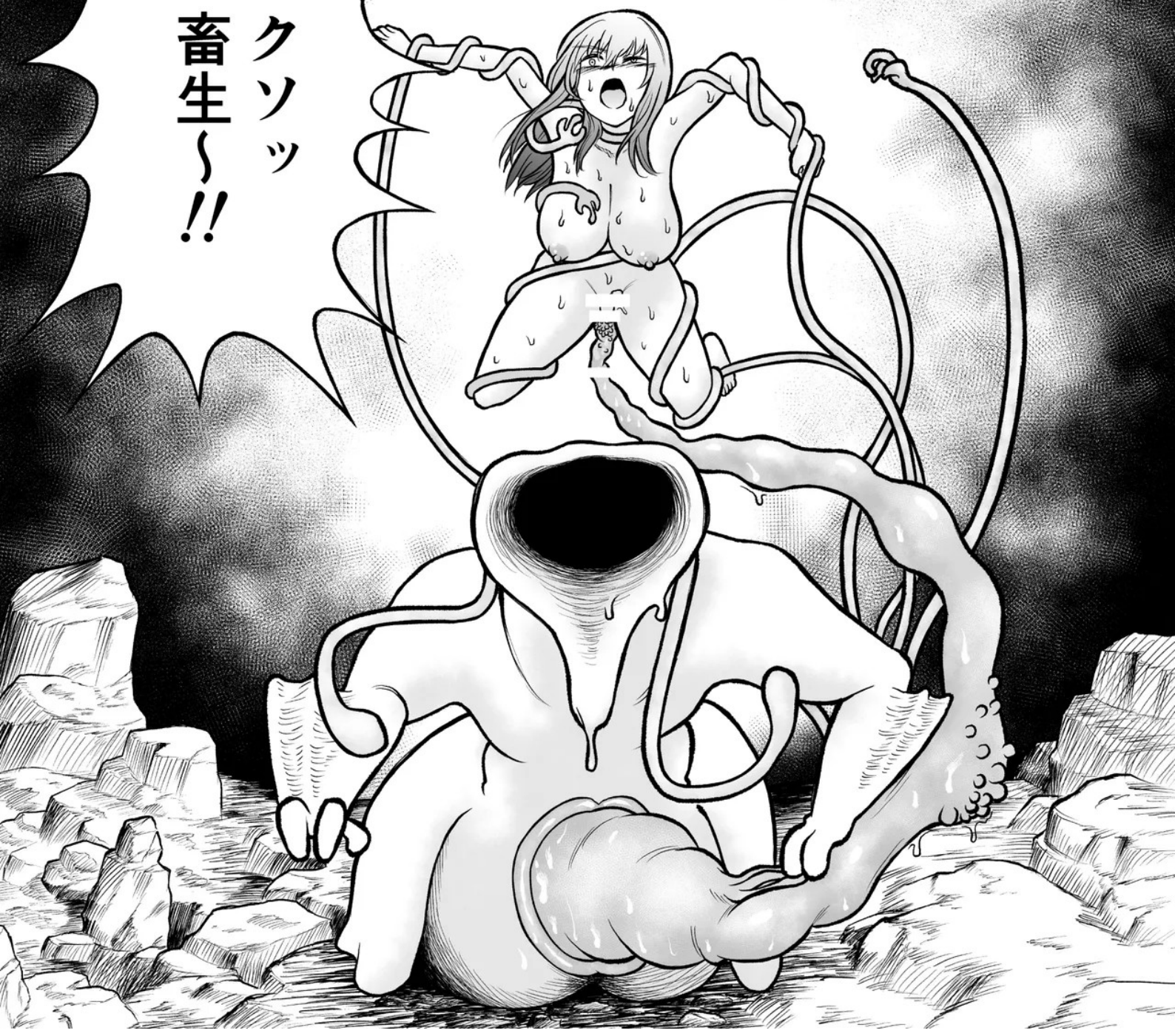


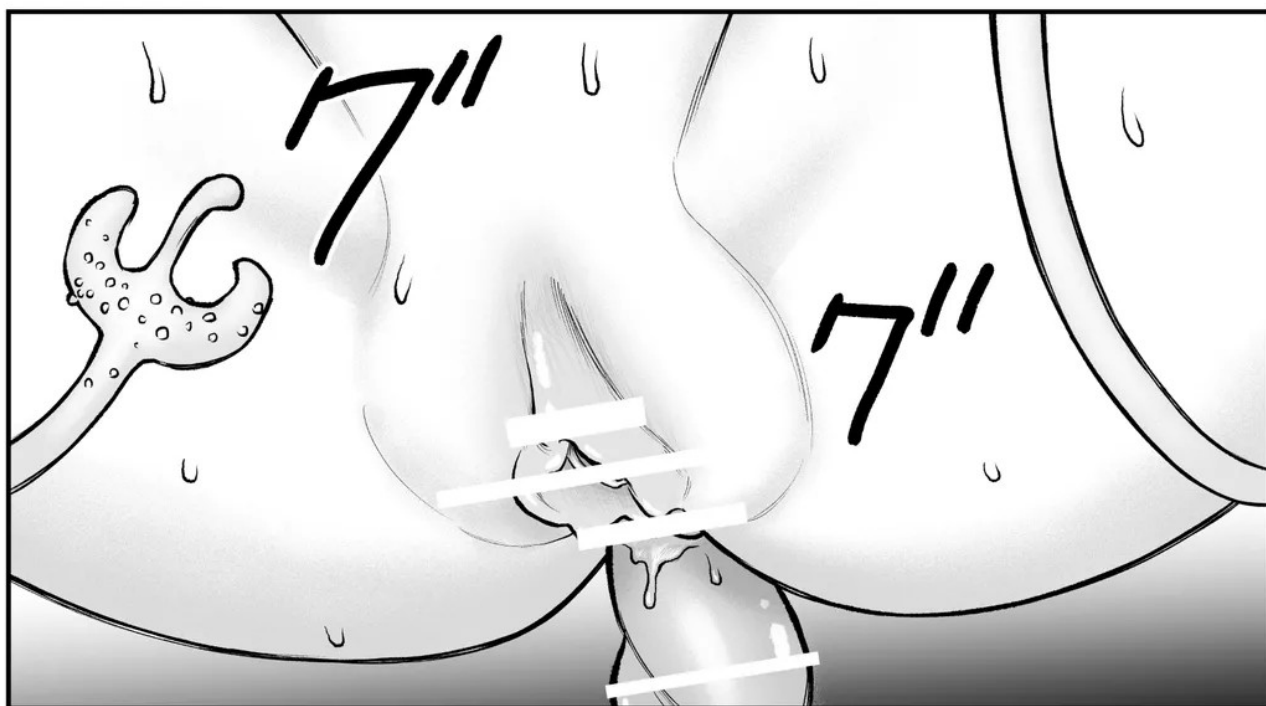
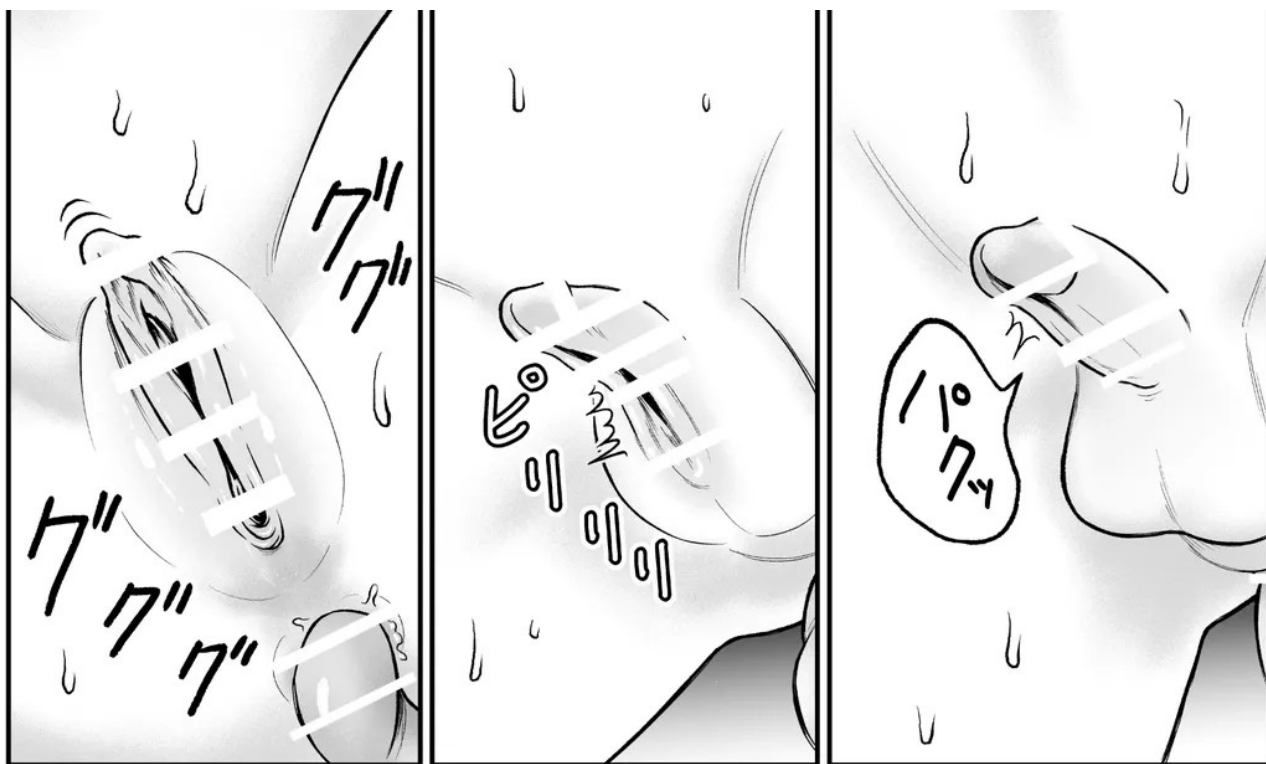


クソッ



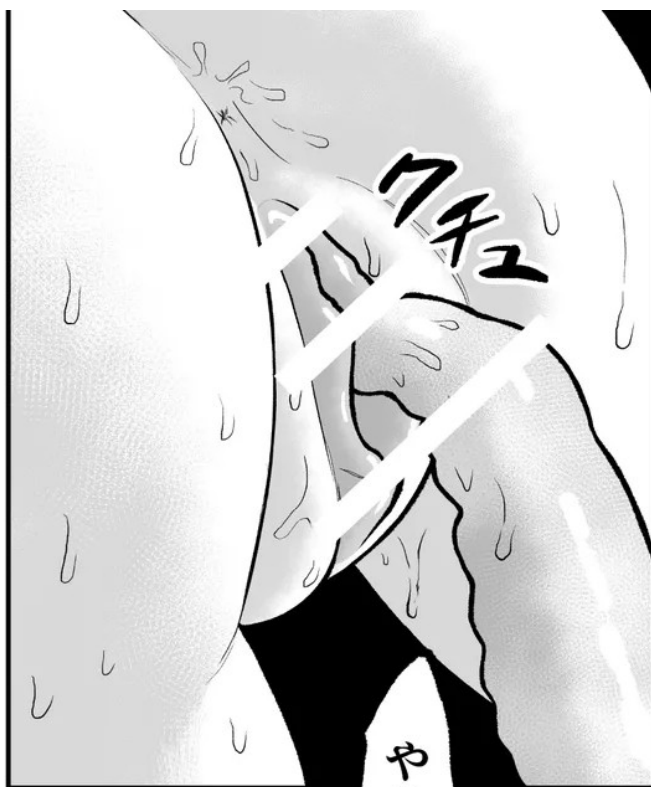
クソッ
畜生く!!



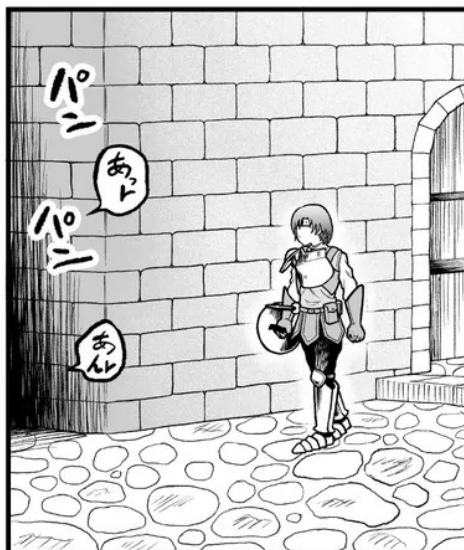


こんなの：
オレの身体
じゃない！！

勇者に
なりたかったのに
もうこんな
身体じゃ…





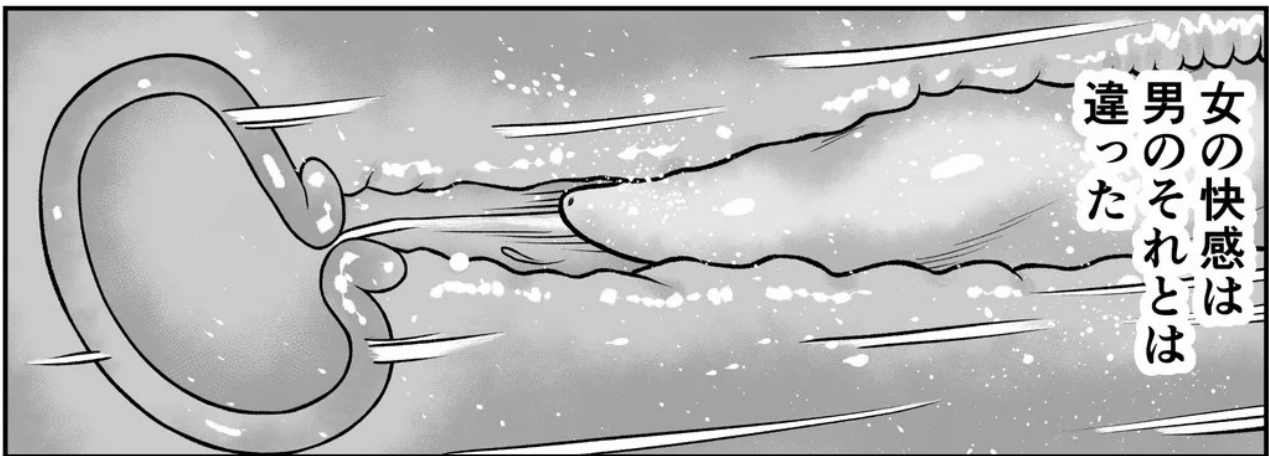
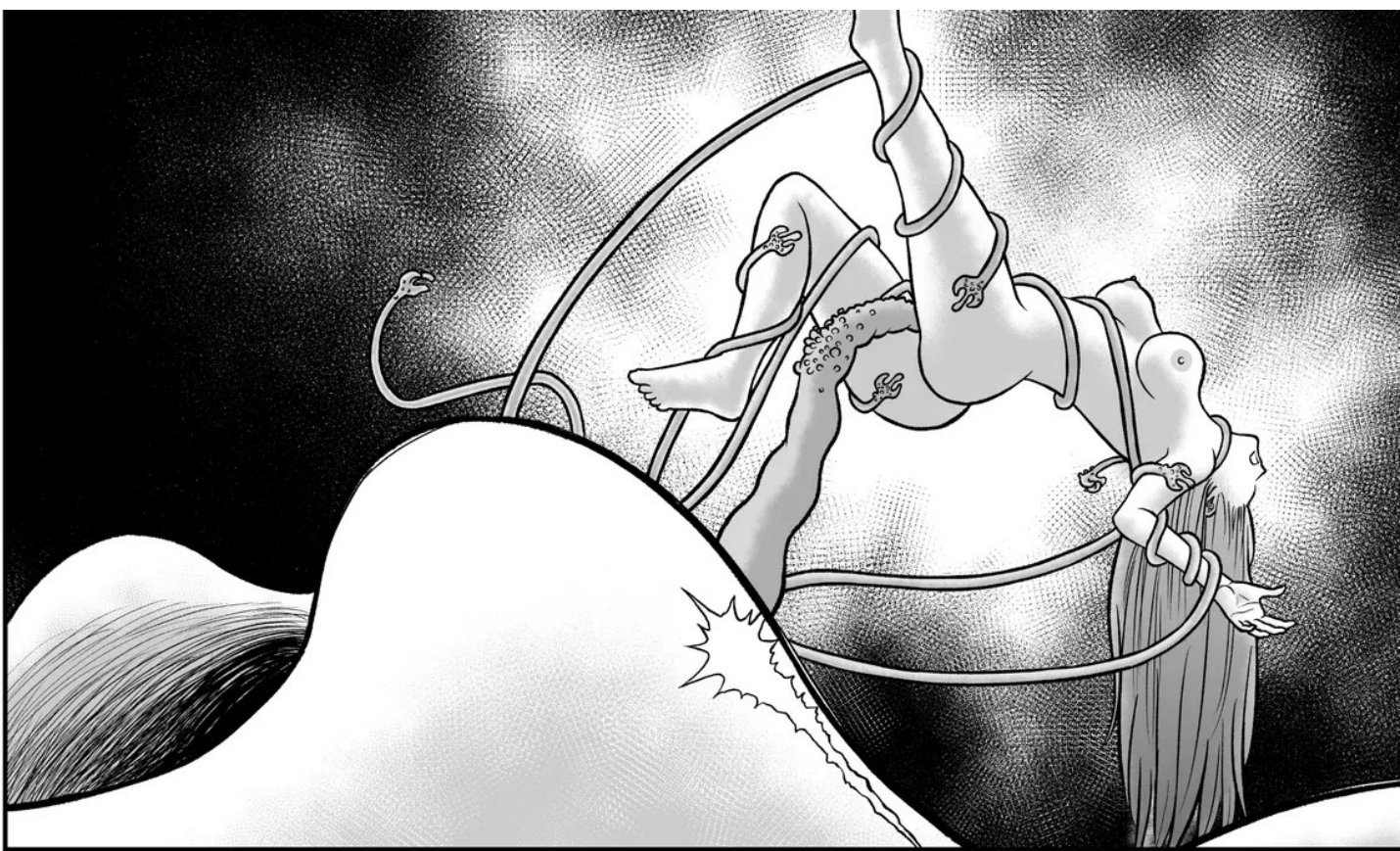


性交への依存、
頻繁な発情

その結果



オマエに
壊されて
たまるか!!!

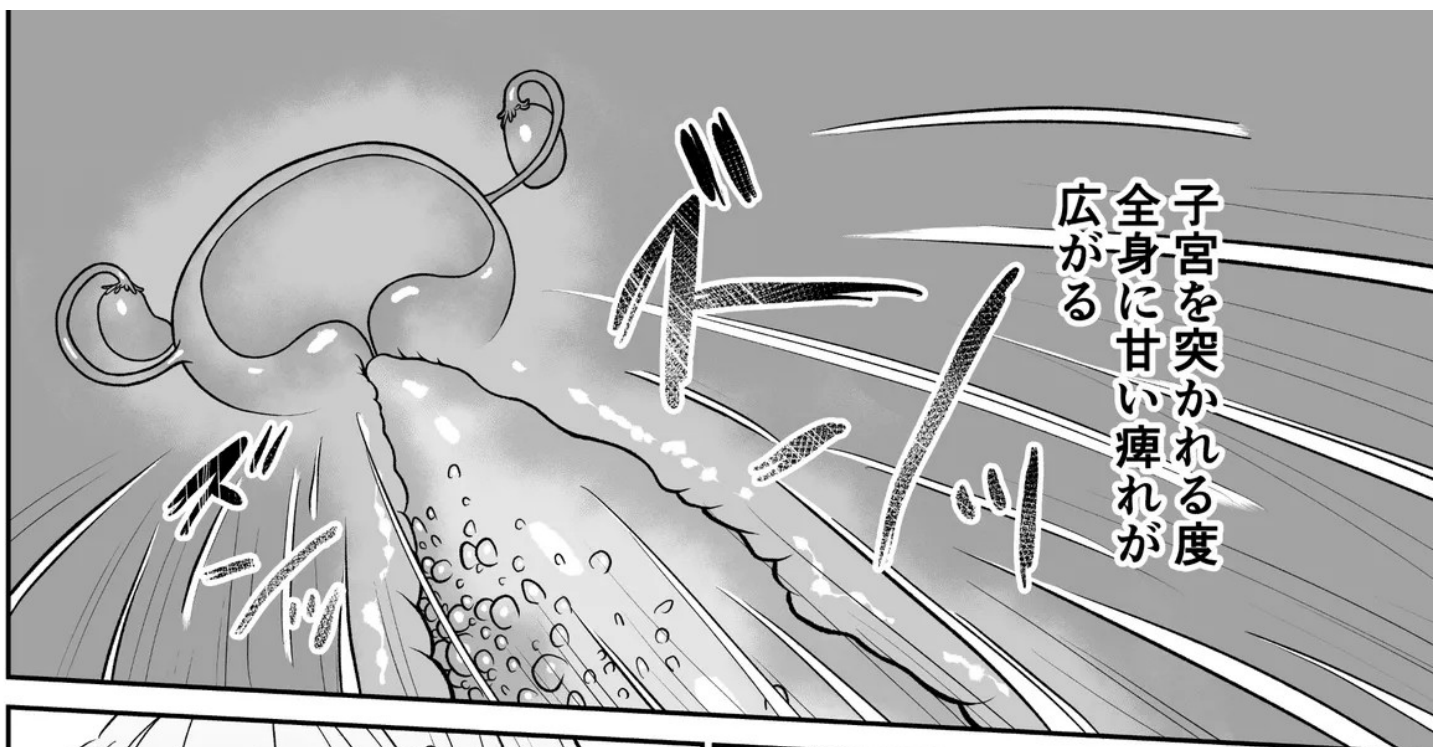


快樂それ自体が
従属を促してくる

はあ——

はあ——





子宮を突かれる度
全身に甘い痺れが
広がる



自分のナカが
相_手ムルベルで満たされる



身体の奥を
穿たれる感覚



思考が



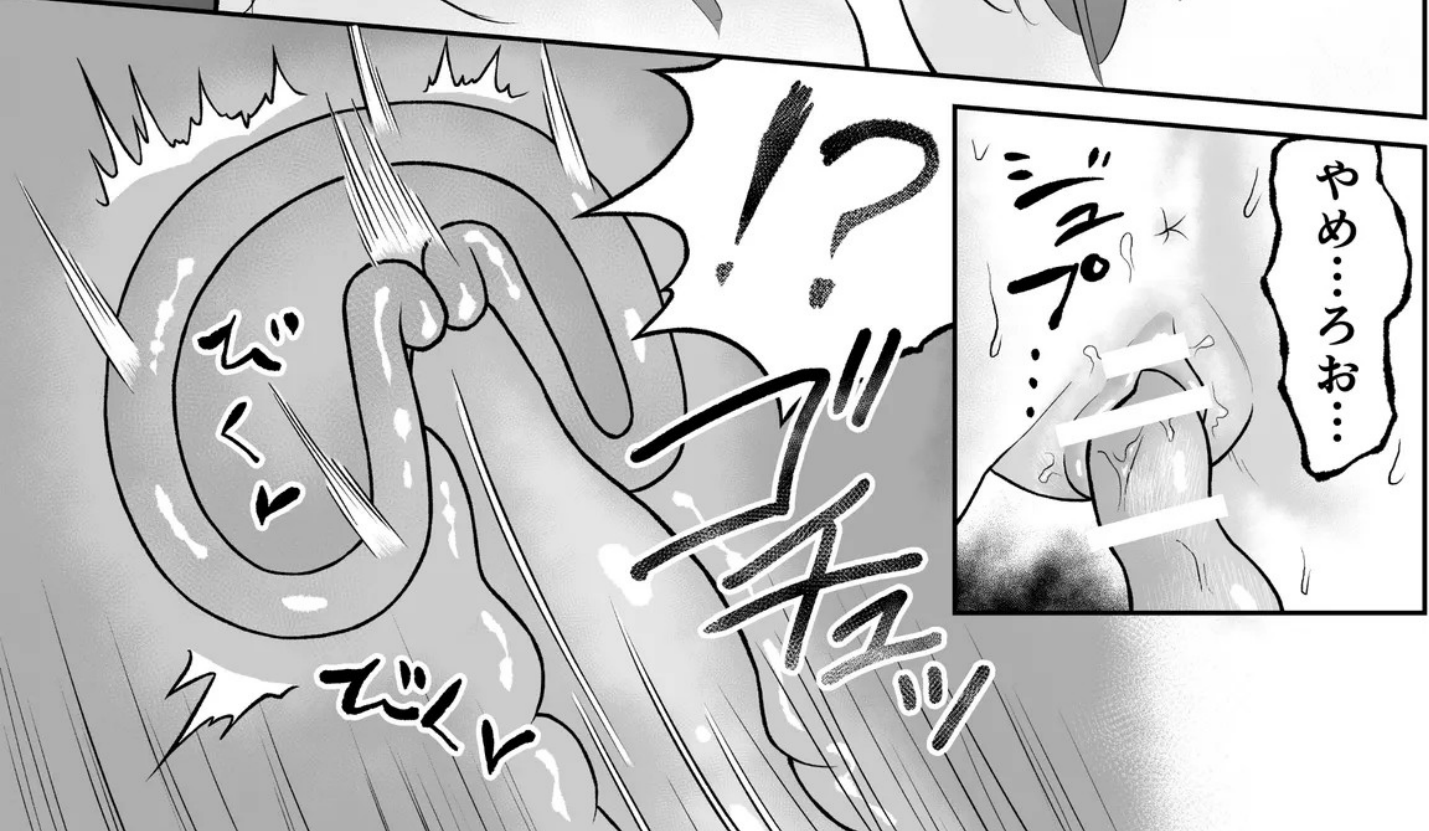
ただ漏れになる
喘ぎ声



牝に塗りかえ
られていく

あ

あ



!?

グ
グ
グ

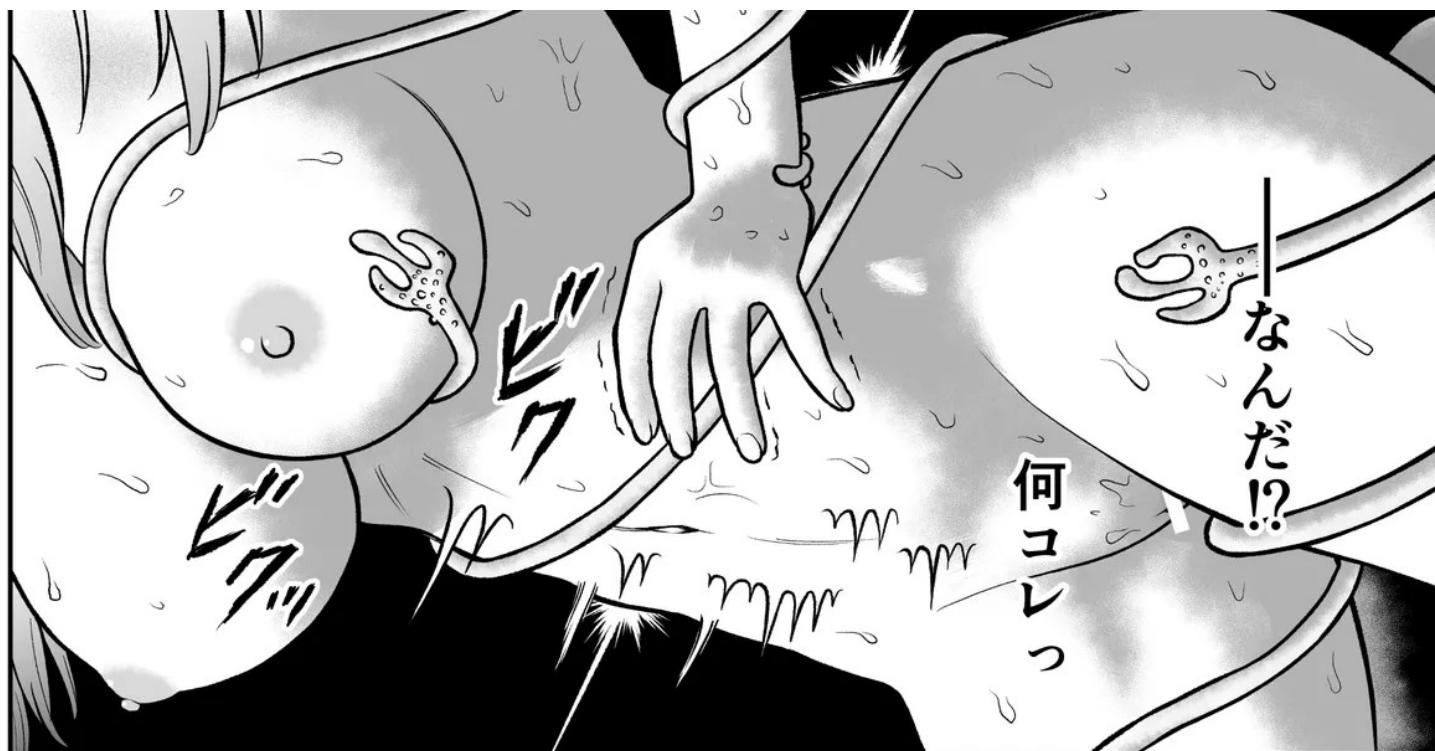
ぐ
ぐ
ぐ

ぐ
ぐ
ぐ

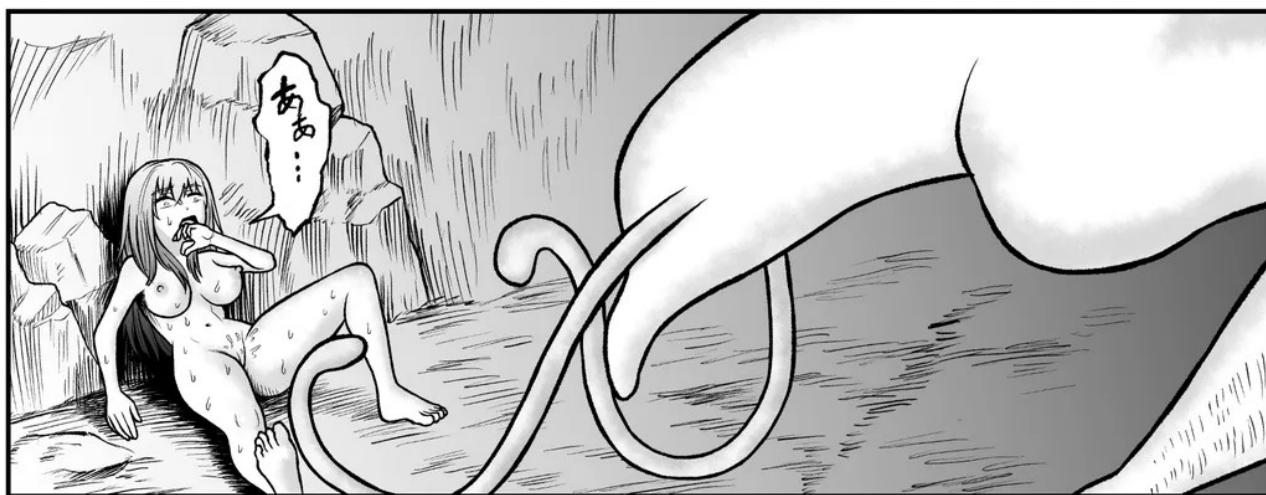
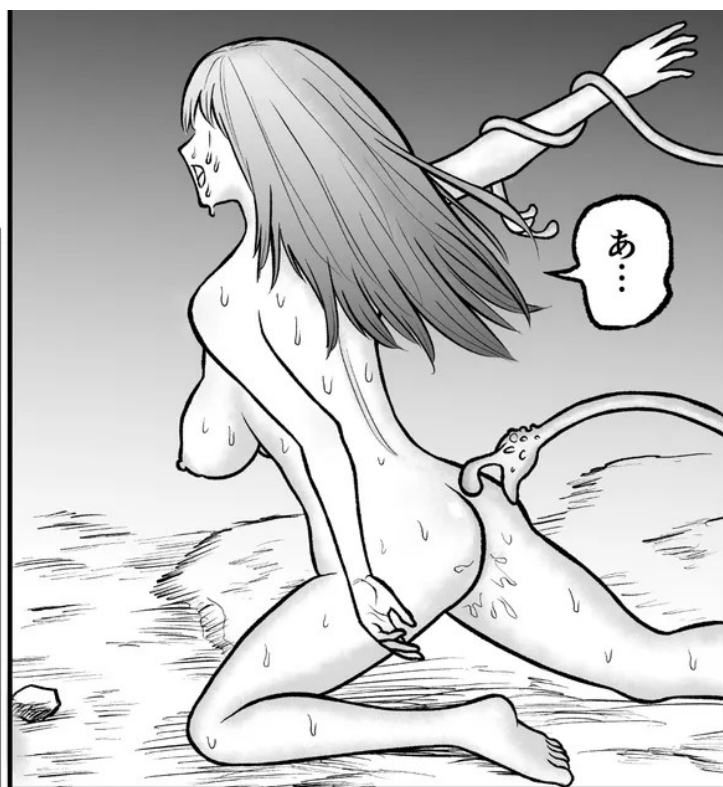
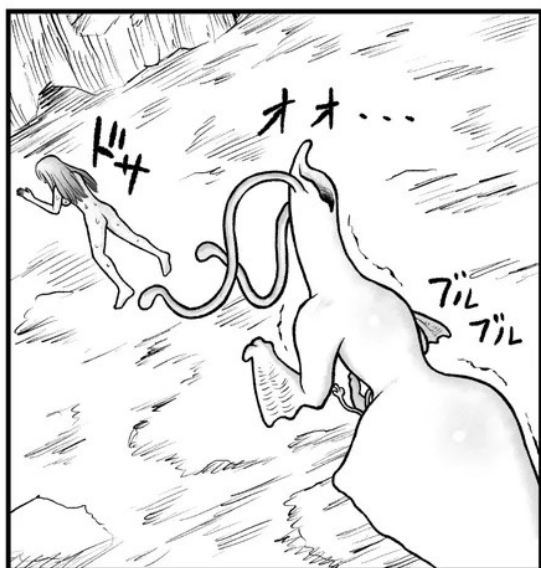


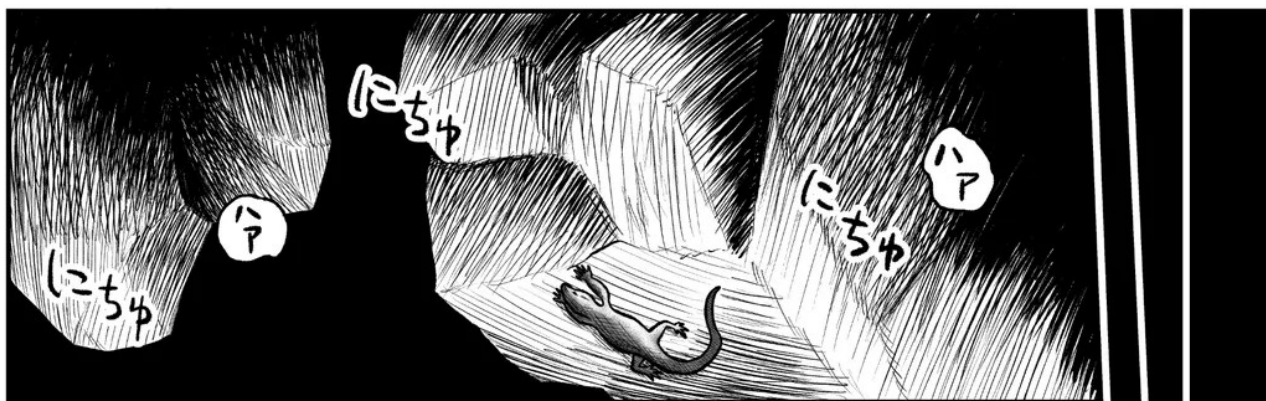
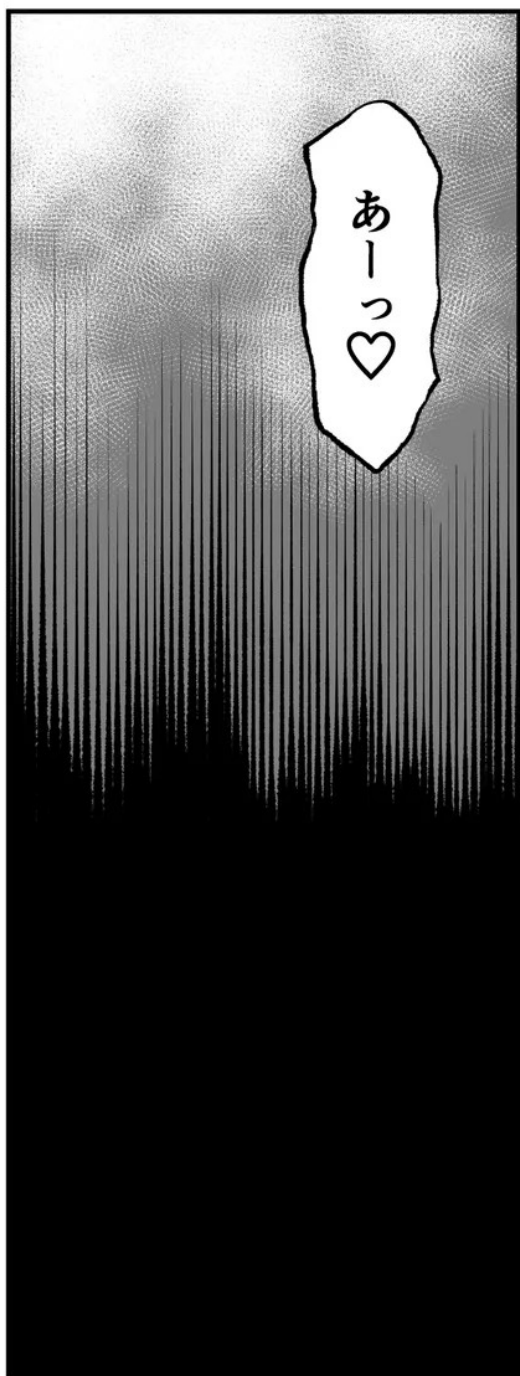
やめ...ろお...

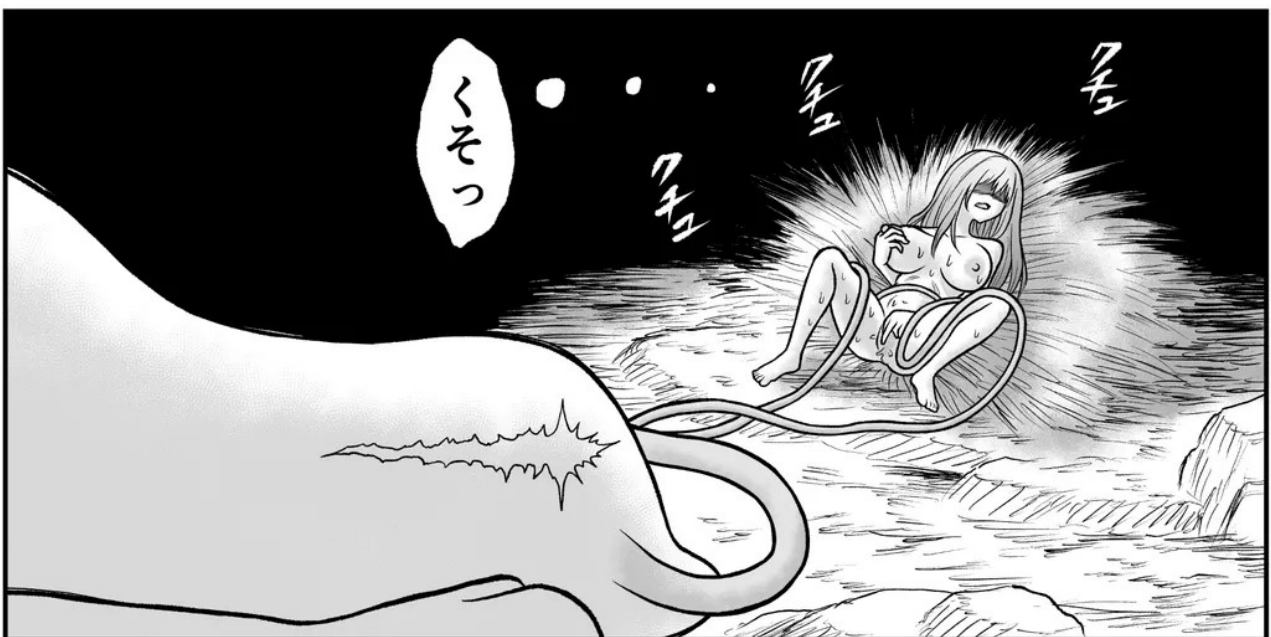
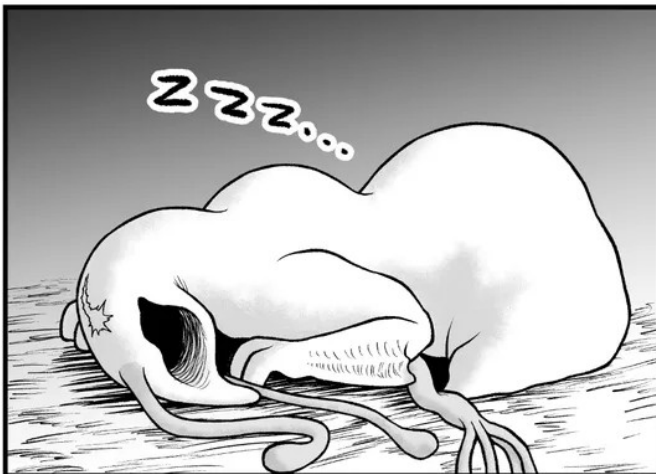
シ
シ
シ













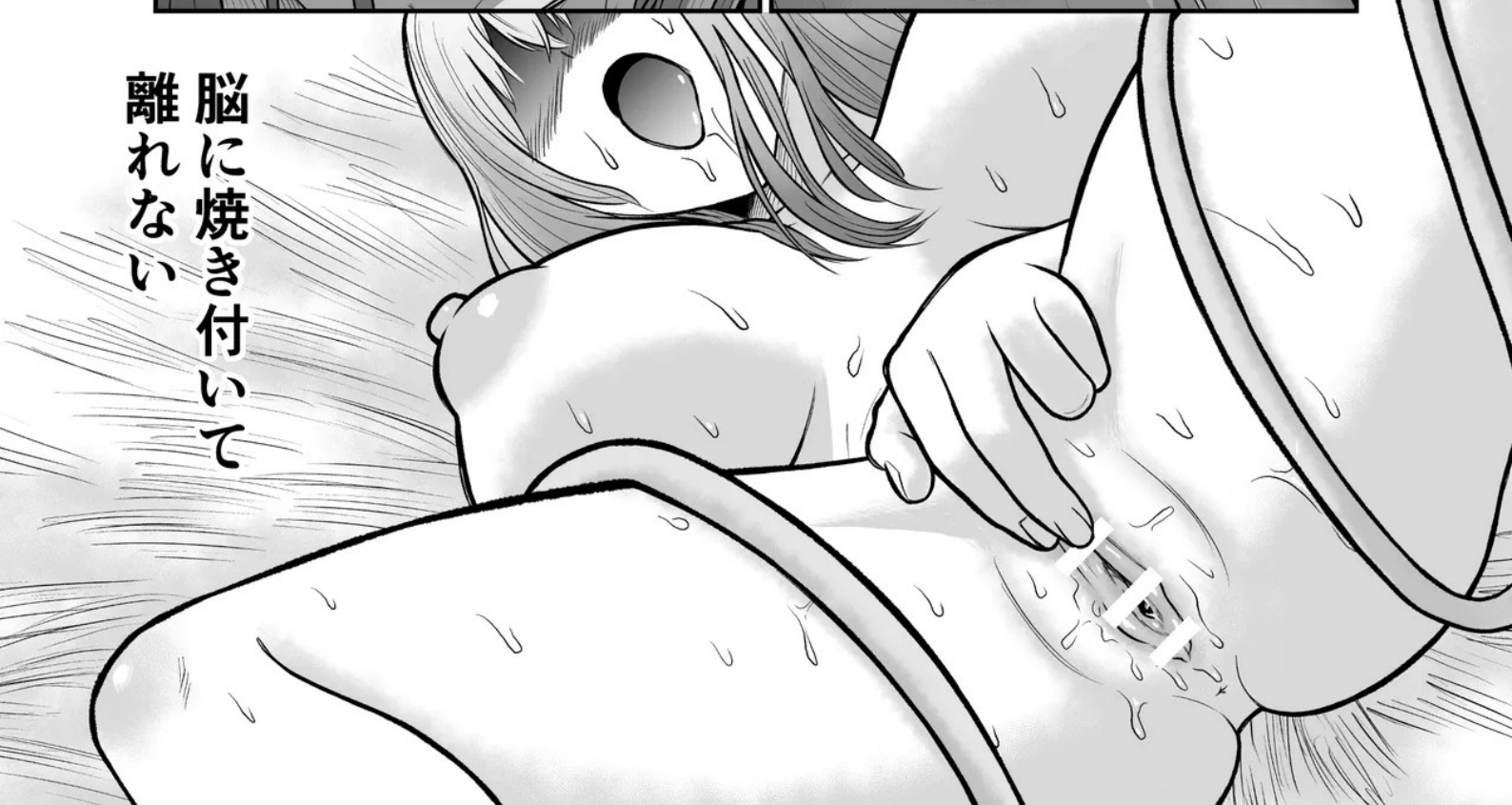
手が
止まらない



何度も
味わわされたら



あんなの



脳に焼き付いて
離れない



オレは男なのに



こんな
ま○こでオナニー
してたら
女みたいじゃんか…

すい♡
すい♡

ぬりゅ…



ハア—

ハア—ッ

イキたくない…ッ



これでイッたら…!

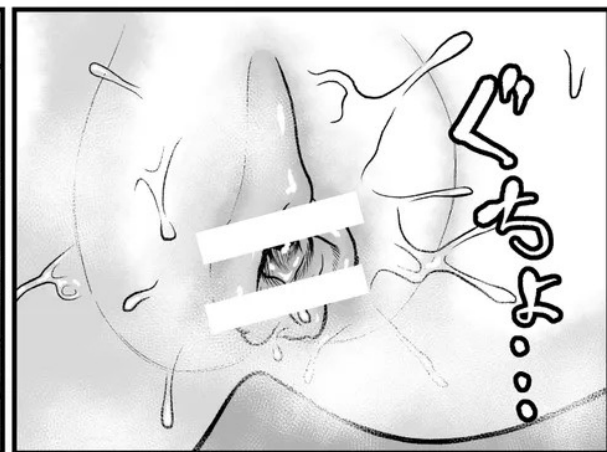
もい

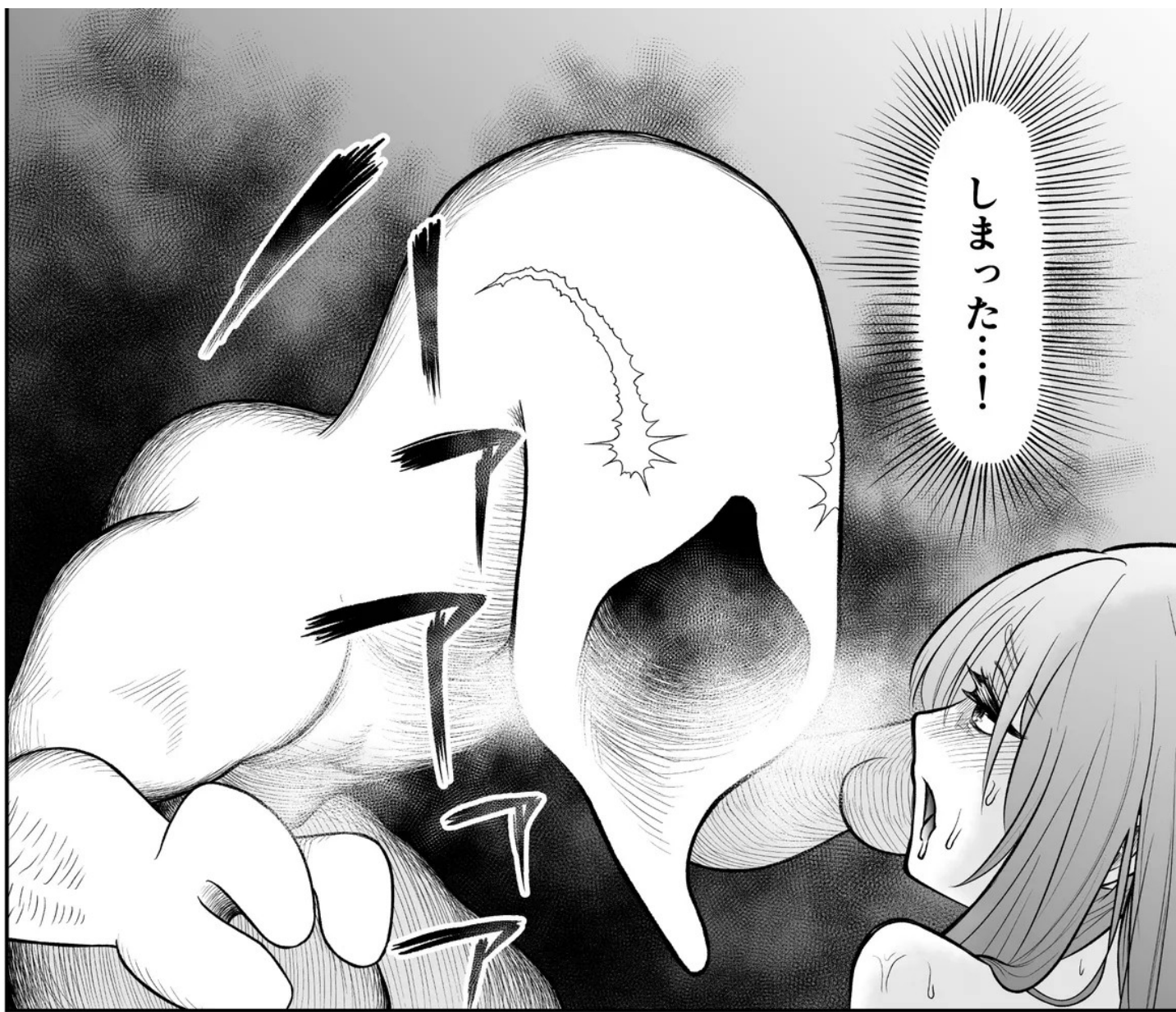
もいっ

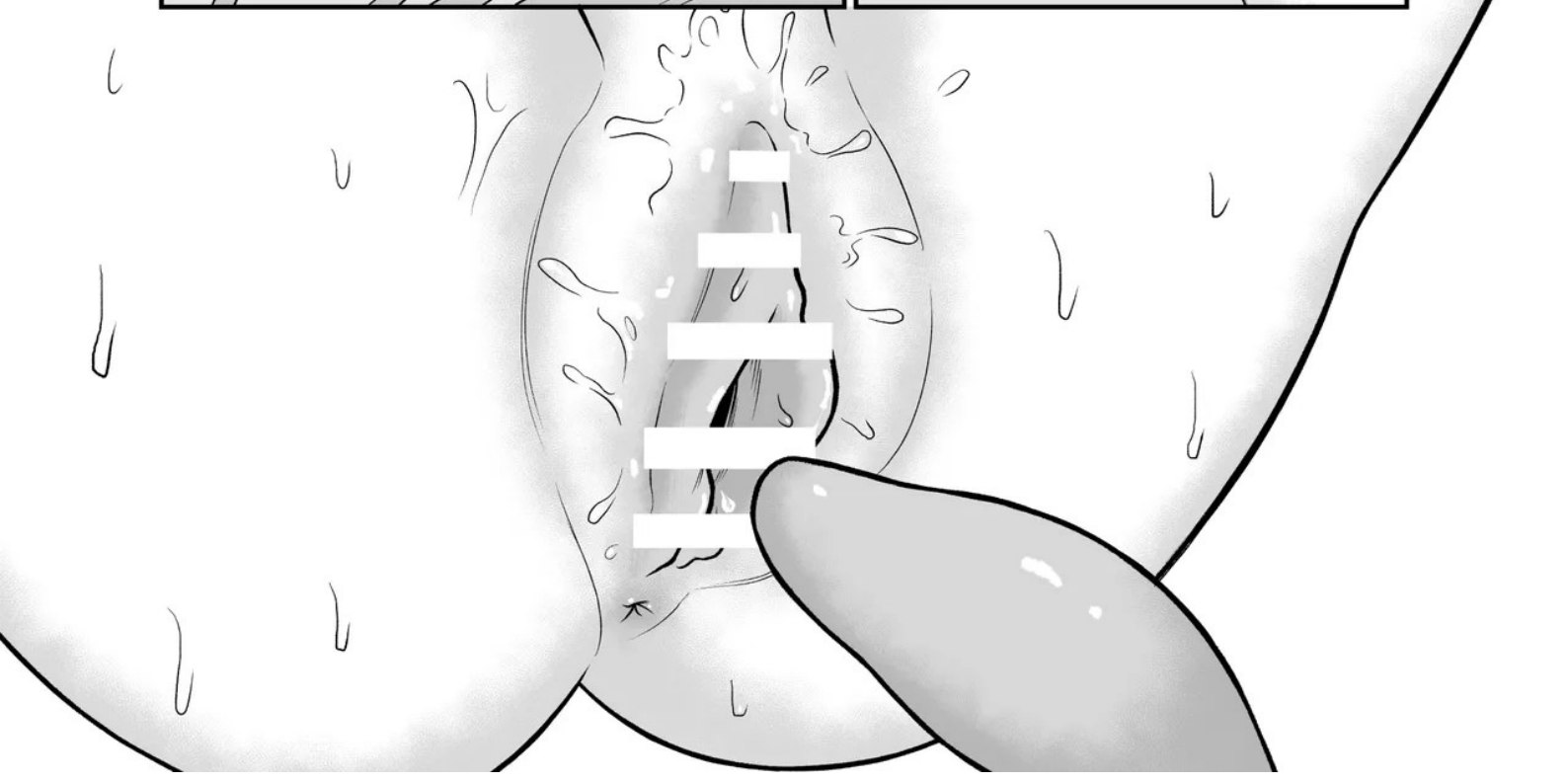
男を捨てた
ことになる…!!

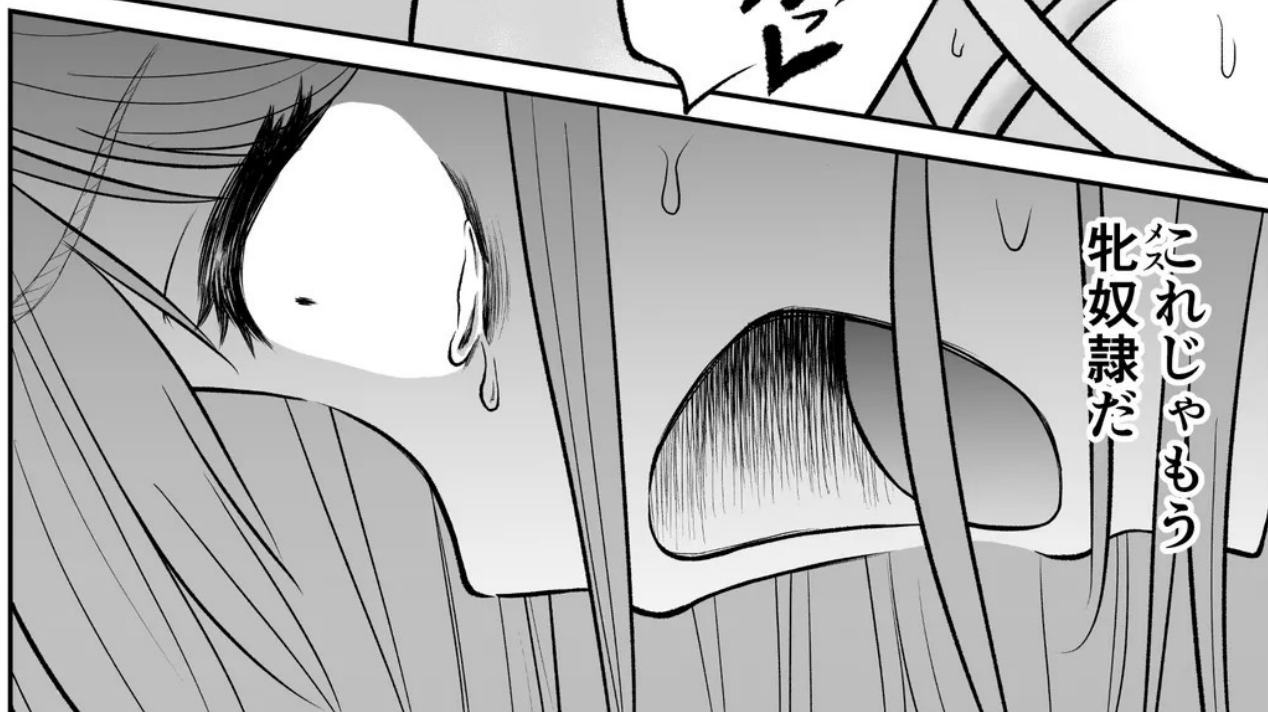


ダメなのに…!!

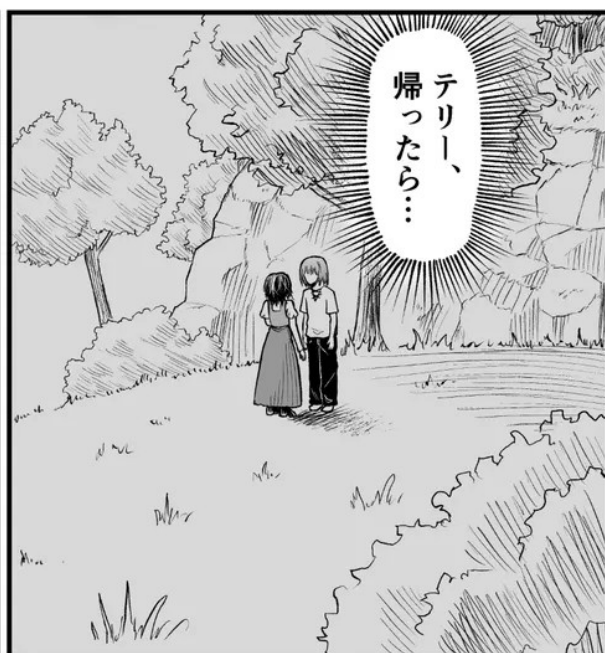








これじゃもう
牝奴隷だ





どうぐみたいにならんぼうにあつかわれるのも



ちからづよく性欲をぶつけられるのも



わるくないじゃん...♡

あ♡

あ♡

あ♡



あんがい



し……あわせえええ

それから
何週間も
何週間も
犯され続けて

おれは

こわれちゃい
ました♡

それでも
しあわせです♡

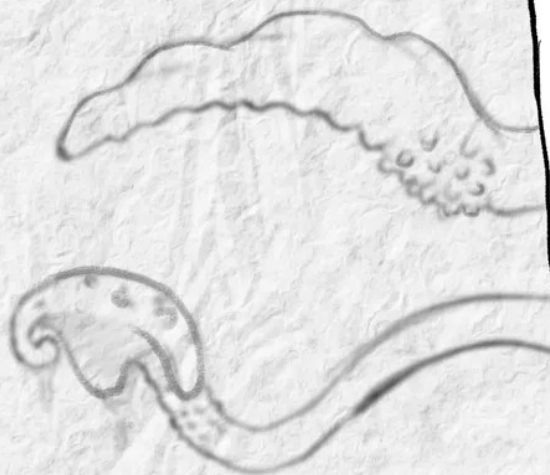






『冒涇の触手』ムルベル 生態調査録

著 王立調査団 ヨルド方面隊第二小隊
ヴァルター・エルレンマイアー



俗称 ムルベル

分類 ルベル科ム属ムルベル

全高1.6m

全長4.8m

全幅1.8m

人類が馬車の足として使う草食獣を優先的に食糧としており、人類側の兵站に悪影響を及ぼしている。

捕縛した魔王軍将官の証言、並びにその身体形状を鑑みるに既存の魔物を複数合成して造り出された魔王軍側の生物兵器と考えられる。

魔王軍側には人間を色欲に狂った女に変態させることで、冒険者たちの士気を削ぐ狙いがあるようだ。

脳にあたる重要神経節が頭部、胸部、腹部に一つずつあり、討伐の際には全て潰す必要がある。

一度の種付けで平均20体程度の仔を産む。

近年では隣国による要人の拉致・女体化による我が国の国家機能破壊のための道具として利用されてしまっている。

あとがき

本書を手にとっていただきありがとうございます。

破壊描写が好きです。

ヒトが千切れ飛ぶ所、家が倒れる所、ビルに着弾するミサイル、
地殻変動で崩れる谷、激しい爆風で大きくしなる大木…

そして精神破壊！

精神破壊こそ私にとって至上の破壊です。

では精神のどの部分を破壊するのが一番気持ちいいのか？

本書では性別の破壊を通して『自己同一性の破壊』を目指しました。

ヒトは自分の体を見下ろした時、鏡を見た時、それが自分の体である
という認識を強化します。

その日々の認識の元に人格を形成していきます。

そういった自己同一性を、性別を変えることで破壊したのです。

本書の主人公、テリーくんは女になってしまった自分の体を見てさぞ
混乱したことでしょう。

彼にとっては、自分の体が異形の肉塊になってしまったのと
同じようなものです。

そしてキャラクターというものは精神を破壊された時に、
その人格の根っこの部分から出たセリフ、行動を
見せてくれるものと思っています。

それらの反応を、私は精神の輝きと呼んでいます。

テリーくんの輝きが、

読者の皆さんにとって良いものであったことを願います。

2024年12月30日 ダークチンポ少佐

Xアカウント
@MajorDarkPenis



オレも
いつかは
絶対
ギルドに
名を馳せる
勇者に……!

オレは絶対
あんな風には
ならない!!

中^だ出された——!

女体化
しちゃうー!?

わるくない
じゃん……♡

♡あっ

♡あっ

♡あんっ

勇者に
なりたかったのに
もうこんな
身体じゃ……



牝^{メス}に塗りかえ
られていく

♡あっ

コッコッ……

ムルベル!!